

ロイス・ワインバーガー展が Tokyo Gendai にて開催 (7月5日~7日)

ベルギー、アントワープのケテレール ギャラリーは、パシフィコ横浜で開催される国際アートフェア・Tokyo Gendai で、オーストリアの芸術家、ロイス・ワインバーガー (1940-2020) の主要作品に焦点を当てた、ソロ・プロジェクトを展開いたします。

ワインバーガーは1970年代より数十年にわたり、民族学的・詩的な作風で自然と人工の空間を探求してきました。彼は一般に「雑草」と呼ばれる植物に関心を抱き、制作の対象と媒体の両方として扱いました。彼の詩的かつ政治的なアプローチは、私たちの注意を周縁的な領域に向け、さまざまな文脈で階層構造を浮き彫りにすることを試んでいます。Tokyo Gendai 初参加の当ギャラリーは、2019年に宮城県・網地島で制作された作品「ハーバリウム」を特集します。会場では、彫刻、写真作品、ドローイング、絵画との組み合わせにより、彼の卓越したアイデアやメソッドから生まれる視覚的表現を紹介する予定です。

ロイス・ワインバーガーは、日本で数々の展覧会やプロジェクトに関わりました。生前最後の展示は、2019年にワタリウム美術館で開催された回顧展「ロイス・ワインバーガー展：見える自然／見えない自然」です。その滞在中に制作された作品シリーズが今回日本へ里帰りし、Tokyo Gendai で初公開される運びとなりました。2019年の網地島での Reborn-Art Festival への参加は、キュレーター・和多利恵津子、和多利浩一との深い親交を示しています。



ロイス・ワインバーガー ガーデン 1994/2024 (手前)
組織学の断面 2000/2019 (奥)
ワタリウム美術館向かいの空地、2024年6月撮影



ロイス・ワインバーガー Holding the earth 2010